市の動き

北上済生会病院の整備に関する協定締結式

北上済生会病院(赤坂俊英院長)の新病院の整備と支援に関する協定締結式は12月26日、本庁舎で行われ、市と岩手県済生会(伊藤彬支部長)とが協定を締結しました。同病院は老朽化などに伴い、九年橋の旧県立北上病院跡地へ移転が決定し、32年度中に開院予定。敷地・施設共に現在よりもゆとりのある病院となります。市は、総額15億円を補助するほか、新病院周辺の歩車道の整備などを行います。同病院は在宅医療介護連携支援センターや病後児保育室などを備え、「市民の病院」を目指します。

市と済生会とが協定書を交わしました

完成イメージ図(北上済生会病院提供)

北上市参加型緑化「みどりのまち育て」の参加事業所に証明書などを贈呈

市は、緑化によってまちを美しく、手入れの行き届いたものにしていくため、まちなみの景観に貢献する樹木植栽や生垣、鉢植えなどによる緑化活動を「みどりのまち育て」と名づけ、こうした取り組みを自主的に行う事業者の皆さんを募集し、公表しています。

29年度は、6月28日から11月30日までの期間に募集し、新規参加事業所3件、継続参加事業所42件、合計45件の参加がありました。参加事業所へは、参加証明書と参加証明ステッカーを各1部、花の種(継続参加事業所のみ)を贈りました。

新規参加事業所
- 喫茶マルカール
- 一ノ蔵
- 千田工業株式会社

※継続参加事業所は、市のホームページ(http://www.city.kitakami.iwate.jp/docs/2014062302956/)に掲載しています。

さわれる文化財寄贈式

さわれる文化財寄贈式は5日、博物館本館で行われました。

岩手製鉄株式会社(佐藤満義社長)、いわてデジタルエンジニア育成センター(黒瀬左千夫センター長)、県建築士会北上支部(千田敏夫支部長)が、3Dスキャンデータを基に製作した鉄鐘と樹脂製竜頭模型・樹脂製錫杖頭模型、および鉄鐘を吊るす架台を寄贈。作法にならって高橋市長らが木づちで鉄鐘を鳴らし、館内に澄んだ鐘の音が響きました。

鉄鐘は、大竹廃寺跡で出土した1000年前のものをモデルに岩手製鉄(株)が1カ月かけ製作。文献などを参考にしながら鉄にリンや硫黄などを添加し、当時の鉄の組成に近づけました。

鉄鐘や竜頭模型などは博物館本館に展示されており、実際に触れたり鳴らしたりすることができます。また、2月1日からは昨年11月に行われたハッカソンイベント「北上ハックブツソン」で製作された作品も共に展示されます。

製作に関わった人たちと市関係者らが、さわれる文化財の寄贈を祝いました

市内の避難者状況(みなし仮設住宅入居者) (12月31日現在)

県市町村	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市	陸前高田市	宮城県	福島県	合計
世帯	8(-3)	20(-2)	11(0)	5(-1)	7(-1)	2(-1)	1(0)	54(-8)
人数	14(-8)	32(-3)	23(0)	8(-2)	9(-1)	4(-1)	2(0)	92(-15)

※( )は9月比。市で把握している人数です。
※広域避難者の住宅再建が進んできていることや、みなし仮設入居者や転入被災者などの変動も小さくなっていることから、本年度は3カ月ごとに掲載します。

７人募集！北上市地域おこし協力隊

　市は、平成30年４月以降に委嘱する地域おこし協力隊員を募集しています。三大都市(東京・大阪・名古屋)圏や、政令指定都市などにお住まいの知り合いなどで興味がある人がいましたらぜひご紹介ください。
　地域おこし協力隊とは、都市部の住民が地方に移住し、地域おこし活動を行ってもらうことで地域活性化を図る制度です。市内では現在６人の協力隊員が活動しています。

○募集内容

◎スポーツツーリズムプロデューサー
▷**定員**…１人
▷**受け入れ先**…スポーツリンク北上
▷**活動内容**…スポーツイベントやコンテンツの企画・事業化、既存イベントの改良を行い、スポーツによる地域活性化の仕組みを構築します

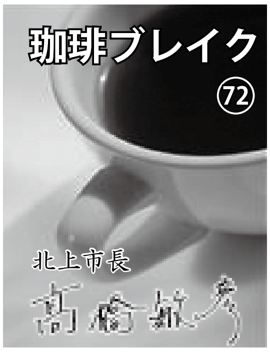
◎くろいわ農産物の魅力発信コーディネーター
▷**定員**…１人
▷**受け入れ先**…NPO法人あすの黒岩を築く会
▷**活動内容**…地域の農産物や資源を活用した新商品開発や販路拡大を行い、黒岩地域の新たな価値を創造します

◎次世代養蚕拠点経営者
▷**定員**…２人
▷**受け入れ先**…(株)更木ふるさと興社
▷**活動内容**…専門家の指導のもと養蚕農家として活動しながら、新商品や体験プログラムの企画など、新たな視点を活かした養蚕文化の再生を目指します

◎ローカルカンパニー魅力発信チームメンバー
▷**定員**…３人
▷**受け入れ先**…(株)北上オフィスプラザ
▷**活動内容**…事業者の魅力を収集・編集し、世界に向けて発信することによって、地元事業者の新しい挑戦を支援します

▶**報酬・活動日数**…月額20万円(活動日数が20日未満の勤務月は日額１万円)・月20日(１日８時間程度)
※活動の対価として報酬を支払います。市と雇用関係はありません。
▶**要件**…現在、三大都市圏や政令指定都市などに居住し、委嘱後に住民票を北上市に異動し、活動できる人(その他の地域からの異動でも要件に該当する場合があります)
※活動条件など詳細については、市のホームページ(http://www.city.kitakami.iwate.jp/docs/2017122000021/)をご覧ください。

問い合わせ　都市プロモーション課　☎72-8308



新城ロード100

　「新城ロード100」とは、本年度、スポーツ庁の助成を受けて市内に設定したサイクリングロードの名称である。当市の友好都市、石垣市出身のサイクリスト、新城幸也氏に名付けていただいた。新城氏は中東・バーレーンのチーム「メリダ」に所属し、ツール・ド・フランスに7年連続出場し完走している、この世界では神さまのような存在だ。昨年11月、オフシーズンでフランスから帰国中のわずかな時間を割いて当市にお出でいただき、市内の名所旧跡をめぐる100kmのサイクリングコースを試走していただいた。
　コースは、市内16地区の主要な景観資産を楽しみながら走るように設定している。街中から展勝地、樺山遺跡、国見山廃寺から口内へ、黒岩のお滝さんを見て、更木ふれあいの里で昼食を取る。平成大橋を渡って飛勢城から奥寺堰に沿って飯豊、藤根、そして多聞院伊澤家に向かう。岩崎では夏油高原ヒルクライム実行委員会幹部と共に、スキー場に向かって坂好きの呼称である「坂バカ」ぶりを発揮する。相去町のcota caféで休憩後、江釣子清水の里からまた街中に戻る。新城氏からは「初心者からプロまで、充分に満足していただける」との高い評価をいただいた。特に稲瀬町から口内町に抜けるコースは全日本クラスの大会が開けるほどのコースだと絶讃いただいたほか、夏油高原ヒルクライムの名所でもある、まっすぐ6km続く緩やかな坂が気に入ったようである。
　このコースのほか、五輪メダリストの有森裕子さんや登山家の小松由佳さんが監修した、トレイルコース・ウオーキングコースなどのマップを近々全戸に配布する予定である。健康づくりのためにも、ぜひ皆さんで誘い合ってコースを走ったり、歩いたりして、楽しんでいただきたい。